えとの方に聞きました！

人時 ほうもん

今月は、家族全員が今年のえと「子（ねずみ）年」生まれの浦瀧家のみなさんに、新年の抱負などを語っていただきました。今年はみなさんにとって、どんな年になるのでしょうか。

うらたきさとる
浦瀧悟さん（昭和23年生まれ）

わが家は、私と妻、息子夫婦と孫の3世代全員のえとが「子（ねずみ）」ということで、不思議な運命を感じています。2世帯で一緒に生活しながら私たち夫婦も現役で農業に従事しており苦労もありますが、息子夫婦も頑張ってくれているので、3世代で楽しく暮らしています。今年も家族全員が元気で毎日を過ごせるよう願っています。

うらたき みさこ
浦瀧美佐子さん（昭和23年生まれ）

JAきたそらち女性部やシルバークラブ、町内会、友人たちとのサークル活動などに積極的に参加し、毎日が慌ただしく過ぎていますが、充実した日々を過ごすことが健康づくりにつながっているようにも感じます。古希を過ぎましたが、これからも健康に気を付けて、楽しい活動を続けながら、孫の成長を見守っていきたいです。

うらたきのりゆき
浦瀧教幸さん（昭和47年生まれ）

農業は自然と向き合う仕事なので、天候の影響を受けるなど大変なこともありますが、収穫した作物の出来が良かった時は、頑張ってきて良かったなという気持ちになります。今年も何か新しいことに取り組むというよりは、これまで通り農家の仕事にしっかり向き合い、みんなに喜んでもらえる米作りをしていきたいです。今年も豊作でありますように！

うらたきるみ
浦瀧留美さん（昭和47年生まれ）

娘がまだお腹の中にいた12年前、このコーナーに掲載していただく予定でしたが、その時は入院と重なり、実現しませんでした。家族が増えてまたこの年を迎えられたことをとてもうれしく思います。仕事や趣味、学校などでそれぞれに忙しいわが家ですが、焼き肉を食べに行くことが家族の楽しみなので、今年も予定を合わせてみんなで出掛けたいです。

うらたきれいり
浦瀧伶俐さん（平成20年生まれ）

学校のスクールバンドでクラリネットを吹いています。昨年の吹奏楽コンクールでは全道大会に出場することができましたが、結果は銀賞で、悔しい思いをしました。今年は小学校最後の学年になるので、毎日練習を頑張って金賞を取りたいです。冬にはお母さんと毎年旅行をしていて、今年は大阪に行く予定なので今からとても楽しみです。